



ごあいさつ

令和2年度からスタートした、10年計画である「四日市市総合計画2020～2029」では、まちづくりの最上位理念として、「ゼロからイチを生み出すちから イチから未来を四日市」^{イチ}を掲げ、「子育て・教育安心都市」「産業・交流拠点都市」「環境・防災先進都市」「健康・生活充実都市」を目指して、市民・事業者の皆さんと行政とが丸となって、着実にまちづくりを進めてきました。

このような中、依然として人口減少・東京への一極集中が続く、地方は厳しい状況にあり、四日市市の人口もゆるやかではありますが減少傾向にあります。また、世界的に流行した新型コロナウイルス感染症の5類への移行、カーボンニュートラルやこどもまんなか社会の実現、DX、生成AIの進展、物価高騰、人手不足など、さまざまな社会情勢の変化への対応も求められています。

このように、時代の潮流や社会情勢が加速度的に変化している中であっても、市民の皆さんが豊かで幸せに暮らせる持続可能な都市であるとともに、さらに、リニア時代を見据え、東海エリアにおける西の中核都市として存在感を発揮し飛躍できるよう取り組んでいくことが重要であると考えております。

そのために、時代の潮流や社会情勢の変化を踏まえ、策定から5年目を迎えた令和6年度に中間見直しを行いました。

中間見直しにあたっては、これまでの取組をより加速していくとともに、新たな変化に対応する取組についても計画の中に盛り込んでいます。市が丸となり「オール四日市」として取り組むまちづくりへの思いを込めていますので、ぜひご一読下さい。

最後に、中間見直しにあたり、シンポジウムや市長との地域づくり懇談会、まちなかインタビューなどにご参加いただいた市民の皆さま、そして中間見直しに関してご尽力いただいた関係各位に対し、心から御礼申し上げます。

四日市市長 森 智広